



音楽理論 カリキュラム

クラス	内容
入門	ここでは、音楽理論の基礎になる楽譜表記に対する基礎知識、音名、メジャー・スケール、マイナー・スケール、調号、関係調、音程を中心に学習します。 特に、メジャー・スケール、マイナー・スケール、調号は、今後あらゆる楽曲に必要な不可欠になります。 また、音程は11回目以降のコードの理解に必要な不可欠になります。
初級	コードの構成音を理解し、その後 Major Diatonic Chord を学習します。 これは Major Key で使用できる7つのコードで、これらのコードを使用してハーモナイズ(メロディにコードを付ける)を行います。 また、3コードによるブルースや Blues PentaTonic Scale について学習します。
中級	Tension, Diatonic Chord に対する Chord Scale について学習します。 またこれで初級でのコード進行の各コードに対する使用可能な音が理解できます。 また minor Diatonic Chord もここで学習します。 次に Dominant Motion (1~2)、Two - Five (1~2)の順序でコード進行を発展させていきます。 これで、Diatonic Chord 以外のコードを使うことになり、より発展したコード進行を作ることができます。
中級	Dominant Motion (3~4)、Two - Five (3~4)の順序でコード進行を更に発展させていきます。 また、Dominant Cadence および Sub Dominant Cadence の通常の終止形について学習します。 Deceptive Cadence は、その通常の終止形でないもので、コード進行に意外性を持たせることができます。 更に Secondary Two - Five に対する Chord Scale を学習します。 また楽譜表記の基礎知識や移調についてもここで学習します。 最後に Jazz Blues のコード進行と Chord Scale を簡単に学習します。
上級	Diminished Chord について学習します。 種類としては、Passing Diminish、Auxiliary Diminish、Tonic Diminish の3種類になります。 この3種類の Diminished Chord を使用したコード進行および Chord Scale 等を学習します。 また慣用句的進行としてクリシェ、ペダル・ポイントやその他の特殊なコードについて学習します。 ここまでくると、かなり発展されたコード進行を理解することになります。 ここでもこれらのコードを使用してハーモナイズを行います。
上級	様々な種類の転調を学びます。 Blues については既に学習していますが、ここでは更に上級編で学習したコード進行を使用して発展させていきます。 また、Blues 特有のコードについても理解し、それを Blues 以外で使用するにも触れていきます。
応用	Mode について学習します。 これは、Major の曲でも minor の曲でも Blues の曲でもない色彩感をもつ音楽形態になります。 ここでもこれらのコードを使用してハーモナイズを行います。 これまでに学習したコードの復習も兼ねて Reharmonize を学習します。 Reharmonize とは、Melody と Harmony (Chord) が既にあるものに対して、新たなコードを付けることを意味します。
応用	Voicing について学習します。 Melody Voicing として 4 Way Open、また Background Voicing として 4 Way Spread、また Upper Structure Triad、4th Internal Build と呼ばれるかなり複雑な Voicing も学習します。 これらはギターやピアノのコードの押さえ方や編曲に応用できるものとなります。 また、Chord Pattern の総復習および曲にイントロやエンディングの考え方等についても学習します。 メロディ・フェイク、ガイド・トーン・ラインを理解し、メロディの演奏の仕方やアドリブについて学習します。

各クラスの学習期間は3ヶ月(10回レッスン)を基準としています。